

特定非営利活動法人

認知症予防ネット通信

第3回当法人公認講師

資格認定審査を終えて

理事長 高林実結樹

当法人認定の資格認定審査制度創設の目的は「みんなの認知症予防ゲーム」のリーダーを育てたいと考えておられる方に、根拠を持つ正しい指導法を身につけて頂くことです。

2017年10月7〜8日に、京都府宇治市市民交流プラザ「ゆめりあうじ」において、9名の受験者を対象に3回目となる公認講師資格審査会を実施いたしました。

今まで公認資格認定審査会を実施する上で、心掛けてきたことは、根拠に基づいた厳正な審査であること

です。準備段階から審査会のメンバーが会議を重ね、特に筆記試験の問題は社会学が専門の佐々木審査委員長の眼識の下に纏められ、改めて試験問題とは、問題を考案した責任者の知能を傾けた著作、著述だと感銘し、情実を挟む余地はありませんでした。

試験は事前提出の問題(8項目)と、当日の問題(20項目)からなる筆記試験、さらに小論文と講師用実技試験の総合審査で可否を判定します。特にリーダーを養成する立場でのゲームリードと教室でゲームのリードを行うのとは求められるものが全く違い、注意が必要です。

第1回目の公認講師資格審査会(2015年実施)では2名が合格。翌2016年に実施した第2

回公認講師資格審査会では残念ながら受験した6名全員が不合格と、涙を呑む結果でした。その6名のうちの3名が再挑戦で今回の第3回公認講師資格審査会に臨まれました。その3名が審査会場に顔を出した時の雰囲気は、前回とは別人のような引き締まったものでした。

実は、前回全員落第であったことは私にとつて痛恨の極みで、事前の準備不足(情報提供不足)だったと、悔やまれてなりませんでした。そこで受験参考書と言える『認定講師心得』(44ページ既刊)と、今回の審査会の事前研修的位置づけで『心得II』(71ページ再校中)を作成し、公認講師資格審査会前に受験者に郵送しました。お話を伺うと再受験の

3名はこれを熟読されて、別人のように開眼されたとのことでした。

新規受験の6名に講師用実技試験で共通していたのは、教室でのゲームリードと、リーダーを育てるためのゲーム伝達の方法・指導の違いに対する認識が浅く、筆記試験では理論の理解が不十分でした。合格した皆さんは、最初の挑戦で失敗したことが、大きなバネとなり飛躍されたものと思います。この3名に倣って、今回不合格となった6名の方も再受験で必ず合格となられますことを信じて疑いません。

願いの心をこめて書いた参考書の『心得』を、是非、もう一度、読み込んで頂きたいと思えます。

みんなの認知症予防ゲームを

津々浦々にポストの数ほどに！

NPO法人認知症予防ネットは、認知症発症以前の段階に於いて、少しの脳機能低下の変化を、生活面から本人も家族もともに正しく認識し、ストレートに要介護状態に突入しないように、「予防教室に通って元気を取り戻し、発症しても悪化進行を遅らせ、葛藤のない生活を可能とする地域づくりを「みんなの認知症予防ゲーム」を通して目指しています。

当法人の目指すものに賛同し活動を始められる同志は、じわじわと全国に増えていきます。だからこそ「みんなの認知症予防ゲーム」の認知症予防の有効性と、ゲームの内容や伝達方法、進行方法・意義・理論を正しく理解し、高齢者と共に歩むことの出来るリーダー養成ができる当法人の公認講師を、世に多く送り出したいと考え、当法人認定の資格認定審査制度を創設しました。

人が古い、衰えるのは、生老病死

苦と言われた昔から変わりません。

高齢化率と個々の問題は別次元で、個々の脳が衰えても、明るい気持ちで生活が出来ますようにと、このたった一つの念願で当NPO法人は活動を続けています。

一歩一歩ではあります但し確実に前進できたのは応援して下さいる皆さまのおかげです。今後とも叱咤激励よろしく願いいたします。◇

受験感想

▽受験された方々に感想をお尋ねしたところ、審査当日や翌日に早速メールでお届け頂きました。△



岐阜県揖斐郡

川本晴之

昨夜は良く寝れました。それだけしつかり取り組めたという事でしようか。送り出してくれた家族、審査の機会を与えていただけスタッフの方々のおかげと感謝してます。

今回の審査を受けるためにもう一度学習し新しい発見をして臨みました。前回より成長していると思つて臨んだのですが、また新しい収穫を得て帰ることができました。

二つあります。一つはリーダー養成講座をすることに心を向けていた自分から、認知症に近づきつつある人たちのためにこのゲームを行うという意識を自覚した次第です。

二つ目は、リーダーになつてもらう実力をしつかりつけてもらおうんだという意気込みと迫力をつかんだ気がします。

今まで岐阜でリーダー養成講座を受けた方に十分なことをしていなかった、申し訳なかつたという反省に立つて、もう一度再出発をしたいと思ひました。年一回、自分のフオロ

1アップ

をして自分を見直すことが必要と感じたのが感想です。

認定審査を受け



日午前中50分間、地元の自治会で「認知症予防ゲーム」をする機会が以前から入つてましたので、やつてきました。やつてみると25名の方の中に、ゲームに対して疑い深い反応をする方や認知症に近づきつつありそうな人が目に入りました。はじめ反応が薄かつたのですが、95%の人に楽しかつたと言つてもらえました。

指導で学んだ「迫力」もしつかり出してきつたりです。「人間だれでも、オギャー・・・」「グーパー体操の後に話す認知症への啓発の話」「じゃんけんリボン取りのゲームの後のインタビュー等」

深く学ばせていただきました。
また、認定講師としてリーダー養成講座をすることと通常の講座や教室は全く違うものであり、人に教えることの難しさと大切さを乗り越えながら、前進することを高林先生からお教え頂きました。

認知症と認知症予防対策は介護保険法4条で定められている様に、国民一人一人がそのことを認識して、日常生活を送るよう定められています。認定講師合格か否かの結果発表は未だですが、どちらにしましても私自身としましては、地域の皆様と一緒に「認知症と認知症予防を踏まえ、子供から高齢者、認知症を病んでいる方々と共に支えあい明るい日常が送れる社会」を目指して、努力していきたいと思えます。

つきましては本部スタッフから会員で認定講師を希望するリーダーなどへの常時お知らせ一斉メール、みんなで共有出来るサイトがあれば、会員同志の情報がより伝わりやすくなるのではないのでしょうか。

お世話をお掛けしますが、御検討

よろしく願います。

最後に、NPO法人認知症予防ネットの益々のご発展を祈念します。



全国津々浦々に

ポストの数ほどに

みんなの認知症予防ゲームは広がっています！



各地からのお便り

京都府相楽郡

田中幸代

大阪府八尾市健康福祉部高齢福祉課から同課主催の「みんなの認知症予防ゲーム」の教室にボランティアで参加されるメンバーに、1時間半で優しさのシャワーについて話をし、てほしいと依頼があり、9月6日1時から2時半講演、3時から4時半は「認知症サポーター養成講座の振り返り」を致しました。

要点は

加齢とともに発症率はあがる。認知症は他人事でなく「ジブンゴト」である。認知症の方への対応の仕方。優しい対応とい

うのは、認知症の方にだけでなく全ての人にあてはまる。

認知症当事者の方の言葉、

「専門職の支援より周りにいる人が今迄通りそばに居てくれることが何より大事である。」

を伝え、精華町で取り組んでいる子ども達への認知症サポーター養成講座についてお話ししました。

認知症サポーター養成講座を精華町では始める前の子ども達は、施設訪問に行っても折っていった折り紙をグシャとされたり、無視されたりという行為に対して、とてもショックを受け二度と行きたくないという気持ちになっている子が多かったのです。

・四年生で『相手の立場に立って物事を考えられる優しい人になりましょう』というテーマで認知症サポーター養成講座を行います。

・五年生でシュミレーションしてよ

り人への思いやりについて理解を深めます。
・六年生で施設訪問して実際にお年寄り

このようにして訪問した子ども達

は、同じように無視されたり、グシヤとされたりしても『病気だから、そういうこともある。その上で自分達はどうかやってコミュニケーションをとったらいいのだろうか』と考えて接してくれています。

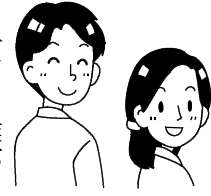
・中学校でのサポーター養成講座はまちづくりまで考えてもらいます。

『誰もが安心して暮らし続ける為に何があればよいか』がテーマです。子ども達の意見を行政に繋いだり、科学的なアイデアは研究所の博士に繋いだりしています。実際に暗い場所

に街灯がついたりしました。そういう子どもたちが、町の中で困っている人をみかけたら「お困りですか？」と声をかけてくれたり、認知症とわかってなかったようです。一緒にうちまで帰ってくれたら、一人暮らしの方のお家の電気が消えたり、ついたりしているのを自宅の窓からみて「今日も無事に過ごしてはる」とさりげなく見守ってくれています。

障害者の方々や手話ボランティア

の方々から、町の中で子どもたちの視線が変わった、子ども達から挨拶をしてくれるなど嬉しいお話が耳に入ってきます。



認知症の正しい理解とはこういう事をいうのではないでしょうか！

子ども達がこれだけ日々の生活の中で人の事を気にかけて、思いやる行動をとってくれています。

子どもは言ったように育つのではなく、大人がやっている姿をまねて育つといえます。超高齢社会を迎えた今、大人は子どもにどんな姿を残しているのでしょうか？

残りの一時間で自己紹介からドジョウさんまでのゲームを一つ一つ説明しながら行いました。

教室では、皆から笑顔で接してもらえる、失敗しても「私も間違えましたわ〜」と一緒に笑って笑ってくれる、以前と同じように一人の人間として向き合ってもらえる。そういう優しさのシャワーと脳活性化ゲームを行うことで、認知症の方もそうでない人もみんなで大笑いしながら

ら、認知症の予防を通して子どもから認知症を病む高齢者までが、安心して暮らしていける地域社会づくりができるゲームなのです。

「皆さんの住んでいる地域でも是非広めていきましよう」とお話して終わりました。

34名の受講生の方々には熱心にメモをとって下さったり、ゲームではその場その場を盛り上げて下さったり、皆さんとても楽しい時間を過ごさせていただきました。

長野県佐久市 相馬留美

二ヶ月に一度特別養護老人ホーム内で地域の方に来ていただきゲームを行っています。前回からその特養のショートステイを利用している方も一緒に2時間過ごします。

ショートステイ利用者9名、地域の6名、職員6名、リーダー1名です。様々な生活レベルの方混合ですが難しさというよりも楽しいし発見があったり勉強になります。ものの言い方、コツがいかに必要かと思わされます(特にお手玉のロボッ

ト風の操作大事ですね)

ショートステイの利用者の隣に地域の方がいると自然と声をかけてくださり配慮してくださる姿も見られます。微笑ましい。

以下職員のコメントです。

・ショートの人もいろいろ出来るんだーとびっくりした。

・グッパ―体操も少しずつ速くするとショートの人もついていけるんだって思った。

・ショートの方は自分のフロアに帰ったらこんな事した、とフロアの人や家族に話している。そしてそれを聞いた家族が喜んでいる。家族はただショートステイで預けるのでなく、何かレク等やって欲しいと思っているからこうやって一般の人と関わって楽しい思いをするのは本人と家族にプラスになっている。ショートステイの職員にとってもプラスになる

・ショートフロアでソワソワして歩き回っているのに2時間座っていることにびっくり

ゲームの前と後の表情が全く違うの

が私のモチベーションアップにつながっています♪

◇

◆東京都府中市の加藤良江様から「うれしいお話が届きました〜」と北海道のリーダーさんからのメールをご紹介下さいました。◆

北海道札幌市 櫻井英代

2017年9月9日札幌市内の多機能小規模事業所連絡会で職員の皆様に認知症予防ゲームをご紹介しました。いつもは、笑いヨガやコーチングなどだったので、ぜひ紹介したい！とお話してやっと思えました！

一時間半と短い時間ですので、ゲームの数より優しさのシャワーにポイントをおいてお話ししました。

みなさん、普段もいろいろと心掛けてやっているけれどやはり、やってあげる、教えてあげると言う姿勢があった、今日の体験でその気づきがあった。自然な流れの中に織り込まれている優しさのシャワーが素敵だ、と感想を頂きました。

◇

NPO認知症予防ネットは積極的に
地元のイベントに参加しています。

2017年9月9日(土)KBS京都
「秋のOne Day Special」

私達の人権メッセージ〜共生社会に
向けて〜(公開生放送)



2017年9月16日パルスプラザ

京都府明るい長寿社会づくり推進機構

公益財団法人京都SKYセンター主催

SKYふれあいフェスティバル

会場ブースでゲームの体験会



会場ステージで来場者にゲーム紹介



みんなの認知症予防ゲーム

第2回「全国リーダー研修・交流会」開催のご案内

今回は午前中に実技研修を実施、午後は皆様のご要望に
添い、交流会に十分な時間をとったプログラムです。

但し、午前の研修参加はご自由です。

日 時：12月8日(金) 10時～17時

会 場：平安神宮会館(栖鳳殿)(電話075-752-3435)
京都市左京区岡崎西天王町97

募集人数：100名(先着順) 申込締切：2017年(平成29年)11月20日(月曜)

申込方法：メールで必要項目を記載してお申し込み下さい

greenthumb34@ares.eonet.ne.jp

参加費：研修会800円 交流会3000円 昼食会4200円 お支払い：当日受付でお願いします。

プログラム：総合受付 9時30分より

研 修 10時～12時 昼食会 12時～13時 交流会 13時～16時45分

閉 会 17時



メール申込み記入必要項目

①氏名(振り仮名をお願いいたします) ②〒・住所・電話・メールアドレス

③午前の研修会に参加・不参加の意向表示

④昼食を申し込む(お取り消しの場合は12月6日までをお願いいたします)

⑤活動について 個人活動の場合 活動場所または協力団体名

団体活動の場合 団体名

◎メールがお使いになれない場合のみ FAX 075-641-5788

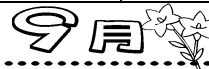
問合先 NPO法人認知症予防ネット 電話 0774-45-2835 npo@n-yobo.net



活動報告 2017年7月~9月



1日	火	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座35期③
2日	水	教室	京都府城陽市	城陽市「もの忘れ予防教室」
3日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第15回
4日	金	養成講座	京都府綾部市	綾部市保健推進課
5日	土	教室	京都市北区	鳳徳サロン
5日	土	教室	京都市南区	故郷の家・京都
9日	水	教室	京都府木津川市	木津川台ゆーゆークラブ
9日	水	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター
9日	水	養成講座	京都府綾部市	綾部市保健推進課
10日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第16回
11日	金	教室	京都市右京区	西院脳活性化教室
14日	月	教室	京都府宇治市	GH 鳳凰模島
14日	月	教室	京都市南区	故郷の家・京都
15日	火	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座35期④
17日	木	カフェ	京都府城陽市	まごころ城陽
17日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第17回
18日	金	養成講座	京都府綾部市	綾部市保健推進課
18日	金	教室	京都市山科区	ウィズフィール京都山科健康教室
22日	火	教室	京都府宇治市	とんがりやまのてっぺんDE
24日	木	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター
24日	木	教室	京都府城陽市	城陽市社会福祉協議会
24日	木	教室	京都府宇治市	NTTふれあい光
24日	木	教室	京都府城陽市	陽東苑
24日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第18回
25日	金	教室	京都府久御山町	久御山町社会福祉協議会
27日	日	教室	京都府宇治市	宇治明星園養護老人ホーム
30日	水	教室	京都市南区	故郷の家・京都
31日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第19回



2日	土	教室	京都市北区	鳳徳会館 鳳徳サロン
5日	火	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座35期⑤
6日	水	教室	京都府城陽市	城陽市「もの忘れ予防教室」
6日	水	研修会	大阪府八尾市	ボランティア養成講座Aグループ
6日	水	研修会	大阪府八尾市	ボランティア養成講座Bグループ
7日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第20回
7日	木	教室	京都市南区	故郷の家・京都
8日	金	教室	京都市右京区	西院脳活性化教室
9日	土	ライブ出演	京都市上京区	京都ワンデイスペシャル
9日	土	養成講座	広島市	楽々屋
10日	日	養成講座	広島市	楽々屋
11日	月	教室	京都府宇治市	介護者ふぁみりいの会同窓会
13日	水	教室	京都府木津川市	木津川台ゆーゆークラブ
13日	水	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター
15日	金	教室	京都市山科区	ウィズフィール京都山科健康教室
15日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
16日	土	講演	兵庫県三田市	三田地域看護推進会
16日	土	イベント	京都市伏見区	SKY ふれあいフェスティバル
17日	日	イベント	京都市伏見区	SKY ふれあいフェスティバル
18日	月	教室	京都府宇治市	GH 鳳凰模島
21日	木	カフェ	京都府城陽市	まごころ城陽
22日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
22日	金	学会	岡山県岡山市	日本認知症予防学会
23日	土	学会	岡山県岡山市	日本認知症予防学会
24日	日	教室	京都府宇治市	宇治明星園養護老人ホーム
25日	月	教室	京都市南区	故郷の家・京都
25日	月	教室	沖縄県沖縄市	J Aおきなわ(中部)
26日	火	教室	沖縄県沖縄市	J Aおきなわ(北部)
26日	火	教室	京都府宇治市	とんがりやまのてっぺんDE
27日	水	教室	沖縄県南城市	J Aおきなわ(南部)
28日	木	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター
28日	木	教室	京都府城陽市	陽東苑
29日	金	体験会	京都市南区	故郷の家・京都
29日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課

1日	土	養成講座	大阪府摂津市	集いの場 輪
2日	日	教室	滋賀県大津市	比良里山クラブ
3日	月	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
4日	火	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座35期①
5日	水	教室	京都市南区	故郷の家・京都
6日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第11回
8日	土	教室	京都市北区	鳳徳サロン
10日	月	教室	京都府宇治市	介護者ふぁみりいの会同窓会
10日	月	教室	京都府宇治市	GH 鳳凰模島
10日	月	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
11日	火	教室	京都市南区	故郷の家・京都
12日	水	教室	京都府木津川市	木津川台ゆーゆークラブ
12日	水	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター
13日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第12回
14日	金	教室	京都市右京区	西院脳活性化教室
15日	土	養成講座	大阪府摂津市	集いの場 輪
18日	火	養成講座	京都府宇治市	青い鳥リーダー養成講座35期②
18日	火	養成講座	京都府久御山町	久御山町社会福祉協議会
19日	水	教室	京都府城陽市	城陽市「もの忘れ予防教室」
20日	木	カフェ	京都府城陽市	まごころ城陽
20日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第13回
21日	金	講演/体験	滋賀県草津市	草津市立志津まちづくりセンター
22日	土	教室	京都市山科区	ウィズフィール京都山科健康教室
22日	土	教室	京都府宇治市	平盛学区福祉委員会
22日	土	養成講座	大阪府摂津市	集いの場 輪
23日	日	教室	京都府宇治市	宇治明星園養護老人ホーム
23日	日	講師派遣	大阪市	認知症予防専門士講座第一回関西実習会実践セミナー
24日	月	養成講座	京都府久御山町	久御山町社会福祉協議会
24日	月	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課
25日	火	教室	京都府宇治市	とんがりやまのてっぺんDE
26日	水	講演	滋賀県草津市	志津南やすらぎ学級
27日	木	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター
27日	木	教室	京都府城陽市	陽東苑
27日	木	教室	京都市伏見区	深草しみずの里 第14回
28日	金	体験会	京都府宇治市	NTT ふれあい光
28日	金	教室	京都市南区	故郷の家・京都
28日	金	養成講座	京都府綾部市	綾部市保健推進課
29日	土	養成講座	大阪府摂津市	集いの場 輪
31日	月	養成講座	京都府久御山町	久御山町社会福祉協議会
31日	月	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課



介護殺人 起きない国に！

全ての人が ともに明るく 暮らせる国に！

「みんなの認知症予防ゲーム」で願い叶える

教室から地域活動へ

高林理事長が京都市南区の「故郷の家・京都」の認知症専門のデイサービスセンターの教室に毎月3回、通い始めて18回になります。ゲームの最後には、太鼓を打ちながらアリランの歌の合唱です。理事長が韓国語の歌を間違ひなく歌えたら、皆さんが喜んで下さいます。そして食事の時には必ず梅干しとキムチが出されます。この施設の創設者の母君が戦後も韓国で過ごされ、最後に「梅干しが食べたい」と言われたことで、日本で暮らしている方達はキムチが故郷の味だと用意されています。「故郷の家」のモットーは国境・民族・文化を越えて共に生きるころ豊かな社会の構築と伺っています。「みんなの認知症予防ゲーム」の教室を続けている間に、施設としてモットー実践のため「健康長寿教室」という名称で地域や家庭で認知症予防に役立つゲームを広めるために、勉強会を主催されることになりました。このような形で施設が地域に働きかけられるのは嬉しいことです。9月の初回には地域の方々や施設の職員・民生委員の方々もご参加でした。

▽報告 原悦子

安心バッジ

認知症による身元不明の方が一人でも助かればと考えたオレンジ色の缶バッジ。裏側に名前・郵便番号・連絡先電話番号を書いたシールを貼ります。100円

電車をいくつも乗り換えをして遠くまで一人でお出かけた母を「安心バッジ」が素早く助けてくれました。

無事に帰宅!

みんなの認知症予防ゲーム「スズメの学校」に毎週たのしみに通う喜久枝さん・健一さん親子



ご入用の方は事務局へ

事務局からのご案内

会員募集

私たちは「みんなの認知症予防ゲーム」が全国津々浦々まで広がることを願って活動を続けています。ご賛同下さる方は、NPO法人の会員となって、この活動を支援して下さいますようお願いいたします。

正会員

入会金2,000円 年会費6,000円

賛助会員

個人 入会金 1,000円
 年会費(1口)2,400円 1口以上
 団体 入会金 3,000円
 年会費(1口) 24,000円 1口以上
 会員 通信無料

郵便振替口座

加入者名

NPO法人認知症予防ネット

口座番号

00900-1-223642

問合せ先

NPO法人認知症予防ネット事務局

電話 0774-45-2835

メール npo@n-yobo.net

「聞こえない言葉を聴く心」

府中市内の有料ホームでのこと、リーダーは、ベテランさん。加藤は、フォローに回りました。メインリードをしていると見えない事が、フォローをしていると見えてくるように感じました。

心の声を聴く

新しい入所者さんがドンドン入ってきます。その中で、お顔の表情の微妙な変化を感じました。この方は、不安でおられるようだ… この方は楽しそうだ… この方は、慣れておられるようだ… この方は… 目と目が合って、微笑むと、その方も微笑んでくださる… ただの笑顔ではなく、大丈夫ですよ…と、心の言葉をかけながら… 私自身、メインリードをしていると、お仲間さんを置いてきぼりにしてしまう時がある。きょうは、リーダーが3人、まだまだ行き届きませんが、やはりグループで行なうことの必要性を強く感じました。

加藤良江

事務局からのご案内**会員募集**

私たちは「みんなの認知症予防ゲーム」が全国津々浦々まで広がることを願って活動を続けています。ご賛同下さる方は、NPO法人の会員となって、この活動を支援していただきますようお願いいたします。

正会員

入会金2,000円 年会費6,000円

賛助会員

個人 入会金 1,000円

年会費(1口)2,400円 1口以上

団体 入会金 3,000円

年会費(1口)24,000円 1口以上

会員 通信無料

郵便振替口座

加入者名

NPO法人認知症予防ネット

口座番号

00900-1-223642

問合せ先

NPO法人認知症予防ネット

事務局

電話 0774-45-2835

メール npo@n-yobo.net